



株主通信

第49期 年次報告書

2023年4月1日～2024年3月31日

Make the Future.



株式会社 **G-7 ホールディングス**

<https://www.g-7holdings.co.jp>

世の中に必要とされる
企業であり続けるために、
各事業の強みを活かし
社会に貢献いたします。

G-7グループは、各事業の強みを発揮することで利益重視の経営を推進するとともに、広く社会の課題に目を向け、新しい事業領域にも挑戦し、より良い社会の実現に向けた行動を続けてまいります。

代表取締役社長
岸本 安正



代表取締役会長 兼 CEO
金田 達三



Q 当期の業績とその主な要因をお聞かせください。

A 第49期（2023年4月1日～2024年3月31日）の連結業績は、売上高192,992百万円（前期比9.1%増）、営業利益6,920百万円（同6.4%増）、経常利益7,318百万円（同7.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益5,175百万円（同35.3%増）と増収増益となりました。

G-7グループは、人間尊重を経営基盤とし、顧客第一主義、現地現場主義によって顧客・株主・社員・地域社会等のステークホルダーの満足度向上に向けた経営を実践してまいりました。また、当社のグループ方針である『儲ける力』に更に磨きをかける」を経営テーマに、人づくり、組織づくりの再構築を図るとともに、売上から利益重視の経営に努め、収益力の拡大に取り組みました。

売上高につきましては、新規出店などによる増収効果

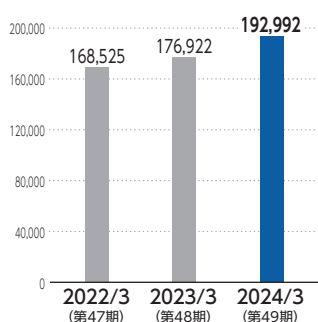
財務ハイライト

売上高

192,992百万円

前期比 **9.1%増**

(単位：百万円)

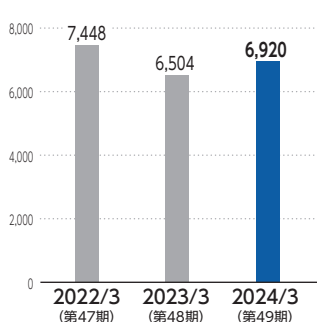


営業利益

6,920百万円

前期比 **6.4%増**

(単位：百万円)

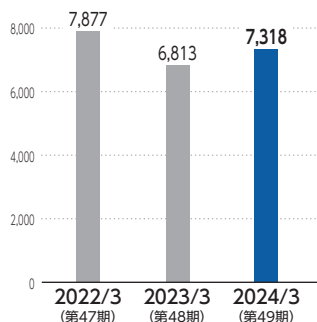


経常利益

7,318百万円

前期比 **7.4%増**

(単位：百万円)

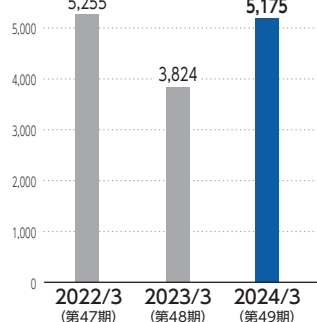


親会社株主に帰属する当期純利益

5,175百万円

前期比 **35.3%増**

(単位：百万円)



により、堅調に推移しました。利益面につきましては、エネルギー価格の高騰に伴う電気料金などの費用増加や新規出店による出店費用の増加があったものの、増収でカバーし、増益となりました。

Q 来期以降の目標と取り組みについて お聞かせください。

A 物価上昇に加えて商品・サービスの値上げが行われるなか、消費者の節約志向が高まるとともに、原材料・物流経費・人件費などのコストも軒並み増加するなど、厳しい経営環境が続いております。当社グループでは引き続き、人づくり、組織づくりの再構築を図るとともに、売上から利益重視の生産性向上を図り、儲ける力に更に磨きをかけて収益力を拡大し、市場変動にも強い経営システムと多角的な事業展開により、安定的な成長が見込める企業体制の構築に努めてまいります。

第50期（2024年4月1日～2025年3月31日）の連結業績予想につきましては、売上高220,000百万円（前



社用車に電気自動車を導入いたしました。

期比14.0%増)、営業利益8,200百万円（同18.5%増）、経常利益8,500百万円（同16.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益5,600百万円（同8.2%増）を見込んでおります。

Q 株主の皆様へのメッセージを お願いします。

A G-7グループでは、各事業の強みを活かし、持続可能な社会へ貢献するために、サステナビリティへの取り組みを強化しております（詳細については本紙「連載企画 Vol.6」および当社WEBサイトをご覧ください）。引き続き、各事業の強みを活かした持続可能な社会への貢献を通じて、株主の皆様をはじめとするステークホルダーの方々の期待にお応えしてまいります。なお、当期の配当につきましては、中間配当金を1株当たり20円、期末配当金は1株につき20円といたしました。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を頂戴いたしますよう、心よりお願い申し上げます。



G-7グループは2013年より「はたちの献血」運動に協力しております。

TOPICS トピックス

「KOBE 2024 世界パラ陸上競技選手権大会」を オフィシャルスポンサーとして応援いたしました。

当社は、神戸で開催された「KOBE 2024 世界パラ陸上競技選手権大会」をオフィシャルスポンサーとして応援いたしました。

「世界パラ陸上競技選手権大会」は、国際パラリンピック委員会により創設された世界最高峰のパラ陸上競技大会です。2024年5月に、東アジアで初めて神戸で開催されました。

G-7グループはスポーツの支援を通じて、地域に根ざした企業として、地域社会とつながるとともに、より一層の関係強化に努めてまいります。



業務スーパーやお肉のてらばやしなど、計9店舗をオープン

業務スーパー		
2024年2月	業務スーパー	御代志店
2024年2月	業務スーパー	あぎる野東店
2024年3月	業務スーパー	赤池モチロ店

お肉のてらばやし		
2024年2月	お肉のてらばやし	御代志店
2024年2月	お肉のてらばやし	あぎる野東店
2024年2月	お肉のてらばやし	川西西多田店
2024年3月	お肉のてらばやし	赤池モチロ店



シャトレゼ猪名川店

バイクワールド		
2024年3月	イポー店	(マレーシア)

シャトレゼ		
2023年10月	シャトレゼ	猪名川店

※2023年10月1日から2024年3月31日までの新店舗。

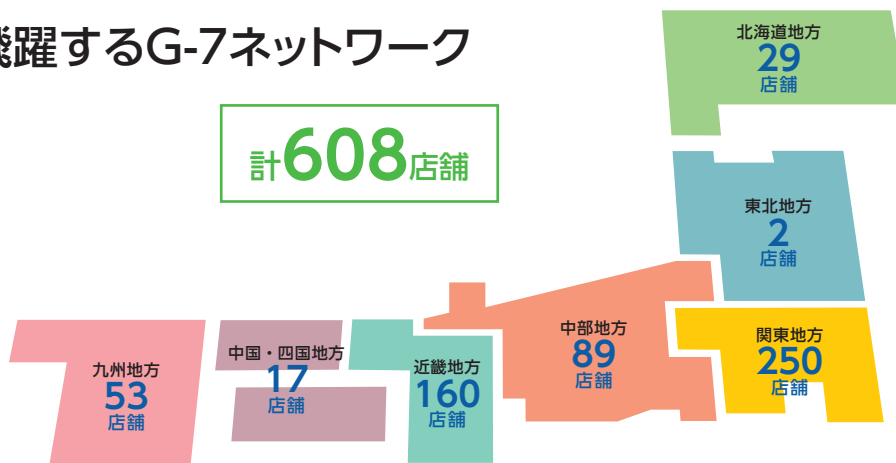
ストアネットワーク

日本から世界へ飛躍するG-7ネットワーク



海外
8
店舗

計608店舗



(2024年3月31日現在)

車関連事業	
「オートボックス」(「スーパーオートボックス」 「オートボックスセコハン市場」含む)	72店舗
「オートボックスエクスプレス」	7店舗
「BPセンター」	9店舗
「コインランドリー マンマチャオ」	6店舗
「FIELD SEVEN」	5店舗
「たい焼き専門店 やまや本舗」	2店舗
「モータウン土山サーキット」	1店舗
「バイクワールド」	20店舗
「シャトレゼ」	2店舗

業務スーパー事業	
「業務スーパー」	191店舗
「お弁当屋K」	1店舗

精肉事業	
「お肉のてらばやし」(アンデス食品含む)	187店舗

その他事業	
「Rico's (旧miniピアゴ)」	58店舗
「めぐみの郷」	20店舗
「スーパーめぐみのさと」	1店舗
「カーブス」	25店舗
「トレジャーサイクル」	1店舗

連載企画 G-7グループが取り組むサステナビリティ Vol.6

安全運転の取り組み

世界の交通事故死を半減するというターゲットが掲げられています。

G-7グループでは、このターゲットを達成するため、以下の3点の取り組みを行っております。

- 車検を求められる原付第一種、第二種、軽二輪車のドライバーに12ヶ月点検を啓発することで、「車両の安全性確保」に取り組んでいます。
- 近年増加しているアクセルペダルの踏み間違えによって発生する重大事故を回避するために、「安全装置の積極的な販売と正確な取り付け作業」を実施しています。
- 社有車へのドライブレコーダーの装着を引き続き推進するとともに、店舗での積極的な販売に取り組んでいます。これによって、①交通事故の防止 ②事故が起きた場合の早期解決 ③事故につながるような運転行為の抑止に努めています。



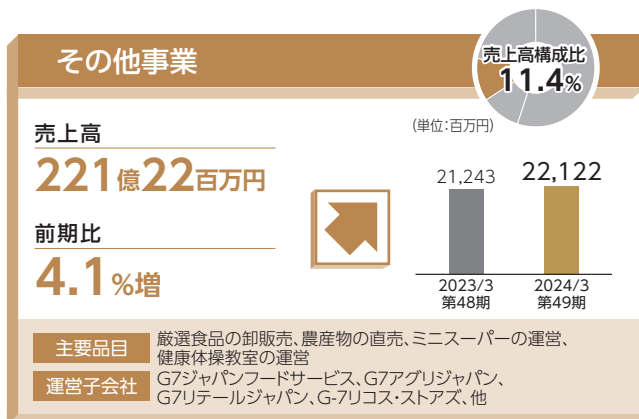
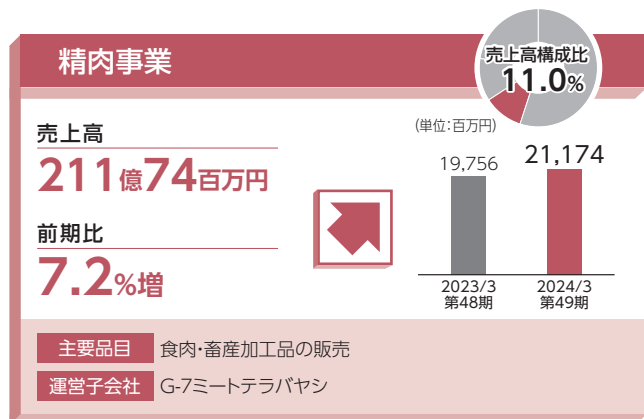
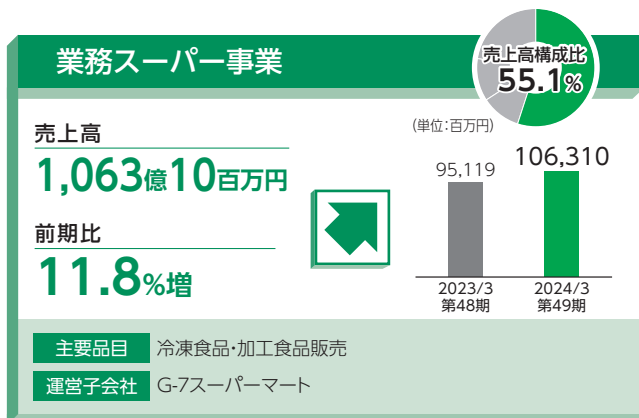
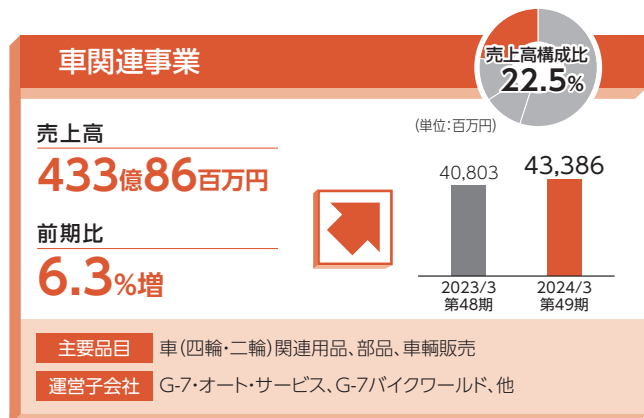
安全教育

全ての子供が質の高い教育を受けられる世の中を作るというターゲットが掲げられています。G-7グループでは、子供たちの安全教育の一環として、タイヤ交換などの作業体験を提供しています。

G-7ホールディングスのサステナビリティサイトをご覧ください。
<https://www.g-7holdings.co.jp/sustainability/>



事業別の概況



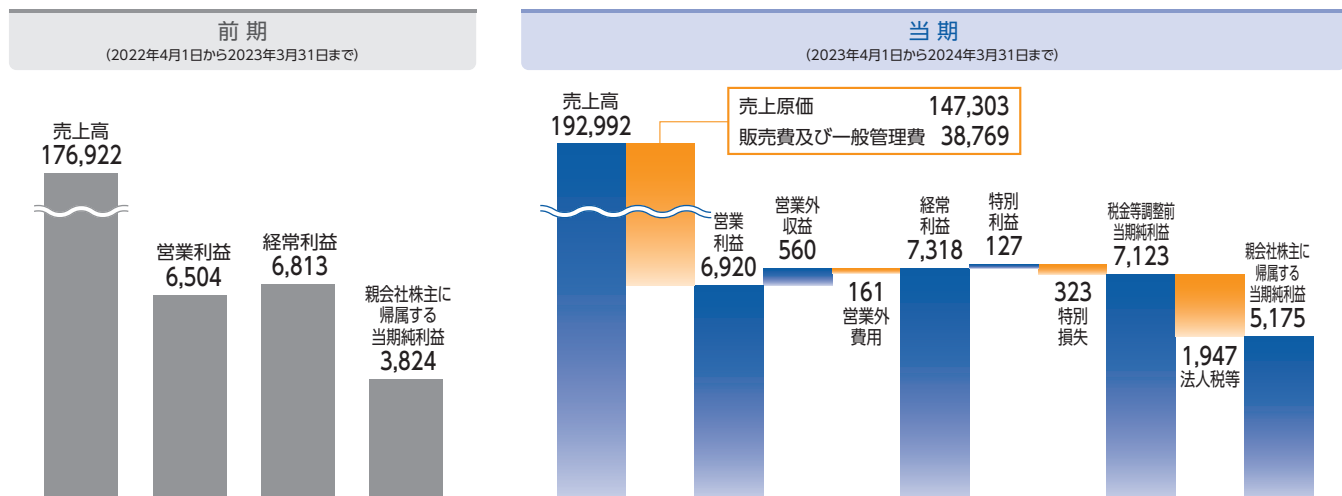
連結財務諸表

詳細はWEBサイトに掲載されているIR情報をご覧ください。

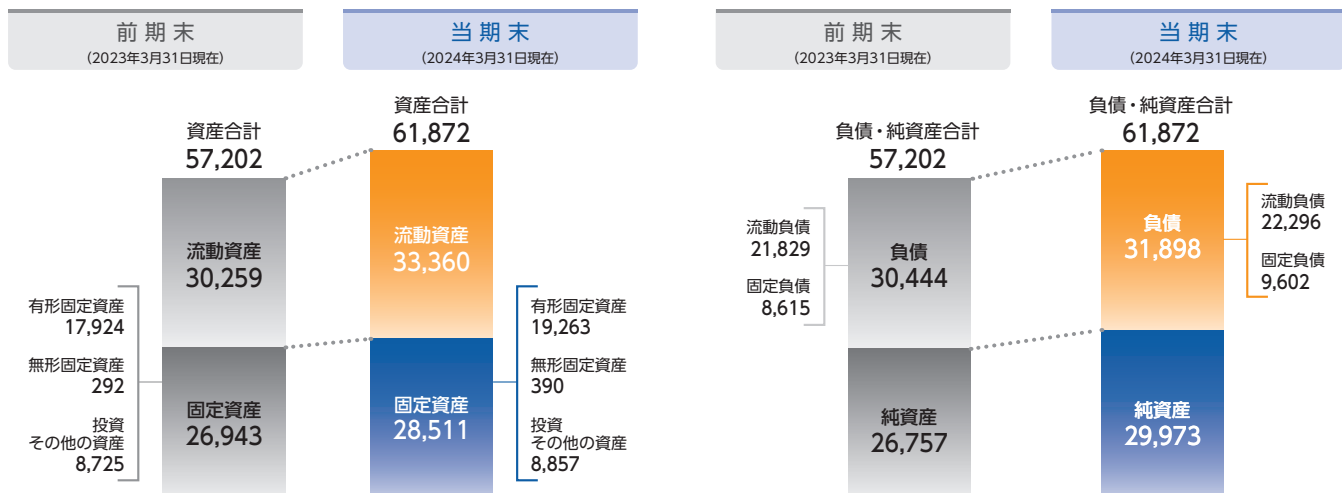
<https://www.g-7holdings.co.jp/investors/>



連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)



連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)



▶ 株式の状況 (2024年3月31日現在)

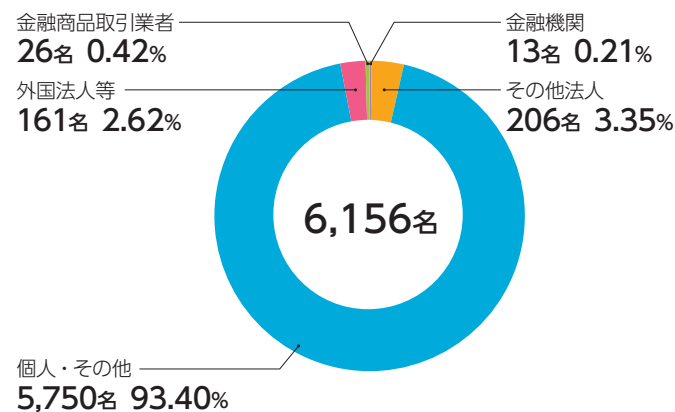
発行可能株式総数 208,000,000株
発行済株式の総数 44,063,754株
株主数 6,156名

大株主(上位11名)

株主名	持株数	持株比率
一般社団法人Kトラスト信託口	11,835 千株	26.86 %
公益財団法人G-7奨学財団	7,322	16.61
木下陽子	3,305	7.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,935	6.66
株式会社オートバックスセブン	2,203	5.00
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE THE HIGHCLERE INTERNATIONAL INVESTORS SMALLER COMPANIES FUND	1,271	2.88
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	1,228	2.78
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	967	2.19
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	904	2.05
塚本晃司	299	0.68
STATE STREET CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM44	299	0.68

(注) 持株比率は、自己株式(46株)を控除して計算しております。

▶ 所有者別株主分布 (2024年3月31日現在)



▶ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
剰余金の配当基準日	3月31日
期末配当	9月30日
中間配当	
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関	
同連絡先(お問合せ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料) 0120-094-777
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.g-7holdings.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所プライム市場(証券コード7508)

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、上記特別口座 口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店においてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

▶ 会社の概況 (2024年3月31日現在)

商号	株式会社G-7ホールディングス G-7 HOLDINGS Inc.
設立	1976年(昭和51年)6月18日
資本金	17億8,570万円
本社	神戸市須磨区弥栄台二丁目1番地の3
事業内容	傘下の各事業会社を支配・管理する持株会社
従業員数	7,671名(パート・アルバイト含む)
ホームページ	https://www.g-7holdings.co.jp

▶ グループ企業 (2024年3月31日現在)

〈国内〉

株式会社G-7・オート・サービス	株式会社G7リテールジャパン
株式会社G-7スーパーマート	株式会社G-7パイクワールド
株式会社G7アグリジャパン	株式会社G7ジャパンフードサービス
株式会社G-7ミートテラバヤシ	株式会社G7ストアイノベーションズ
	株式会社G-7リコス・ストアーズ

〈海外〉

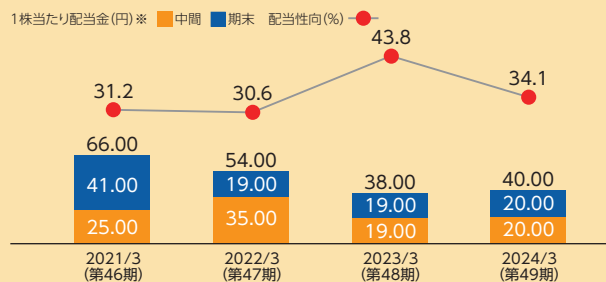
G7 RETAIL MALAYSIA SDN.BHD.	G-7.CrownTrading CO.,LTD.
-----------------------------	---------------------------

▶ 役員の状況 (2024年6月27日現在)

代表取締役会長 兼 CEO	金田 達三	取締役	坂本 充
代表取締役社長	岸本 安正	取締役	志田 幸宏
取締役	松田 幸俊	取締役	吉田 泰三 (常勤監査等委員)
取締役	関 大作	取締役	玉置菜々子 (監査等委員)
取締役	玉木 功	取締役	藤村絵里子 (監査等委員)
取締役	野口 真一		

- (注) 1. 坂本充氏、志田幸宏氏、玉置菜々子氏および藤村絵里子氏は社外取締役であります。
2. 当社は、坂本充氏、志田幸宏氏、玉置菜々子氏および藤村絵里子氏を株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

配当金と連結配当性向の推移



※当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期の第2四半期以前の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

<https://www.g-7holdings.co.jp>

当社に関する情報は
ホームページでも
ご覧いただけます。

株式会社G-7ホールディングス

本社 〒654-0161 神戸市須磨区弥栄台二丁目1番地の3
TEL 078-797-7700 FAX 078-797-7710

